

9月25日 朝礼にて 校長講話

今日は、いつもの朝礼と違って、お知らせしたいことについて話します。来年、4月からスタートすることについてです。何が始まるかという、二期制というのが始まります。今は、1学期、2学期、3学期というような3学期制と言って1年を3つに区切るやり方で動いています。来年4月から、これがどう変わるかという、前期、後期の2つになります。4月から10月なかばまでが前期、10月なかばから3月までが後期というようにわかれます。何が変わるのか変わらないのかですが、変わらないことは、学期の始めと終わりに式があるというのは変わりません。夏休み、冬休み、春休みも変わりません。ただ、学期の途中に夏休みや冬休みが入ります。夏休みや冬休みの時期が変わるわけではありませんし、前期と後期の間に休みがあるわけでもありません。では、変わることは何か。学期の区切りが2つになることと、通知表が2回になります。そのことで、じっくりと勉強したり、運動に取り組んだりすることができるようになることと、時間に余裕ができるようになります。

昔から北中は2期制を行ってきたので、当たり前になっているのですが、これで、小学校も中学校もあま市の学校は二期制になります。今日、1から5年生の子にはお知らせの紙を渡しますので、来年から2期制になるというお知らせですので、おうちで、必ず見せて下さい。

さて、前回、「出た」という話をしましたが、先日、蛇の抜け殻をもらいました。頭の前からしっぽの先まで完全につながったもので、珍しいので校長室の前に飾っておきました。見た人ありますか。たくさんいるね。それで、素晴らしいと思ったのは、1週間おいてあったんですが、蛇のからはちぎれることなく、そのままの状態でも今もあることです。色んな子が見に来てくれて、触ってもいいんです。そっと、大事に触ってくれて、今も頭の前からしっぽの先までつながっています。とっても嬉しく思いました。

さて、今日、彼岸花が折れているということを知らせてくれた子がいました。彼岸花は、秋竹小学校の秋を彩るとても素敵な花です。みんなは、あるものをちゃんとあるままに見ていられるというのはえらいと思います。折れたのは、日曜日に来ていたちっちゃい子が知らずに折ってしまったということだそうで、仕方がないよね。今日は、あるままにちゃんとできて素敵だと思いました。

